

(様式第8号)

長野県みらい基金 事業指定助成プログラム
助成対象事業実績報告書

2023年4月4日

公益財団法人

長野県みらい基金 理事長 様

申請者：所在地 長野市三本柳西2丁目74番地

団体名 特定非営利活動法人にっこりひろば

代表者 職・氏名 理事長 岡宮 真理

『長野県みらいベース』において当団体が掲載した「事業指定助成プログラム」について、下記のとおり報告します。

記

1 助成対象事業名

子どもたちを真ん中に 子どもたちは地域で育てる
安心安全な地域の居場所「にっこりひろば」

2 助成対象事業の実施期間

2022年10月1日～ 2023年3月15日

3 助成対象事業の内容

1.登校サポート

小学校や各機関と連携して、当事者の相談や児童や生徒が過ごす場の提供

2.学習サポート

必要に応じて学習サポーターと一緒に過ごす。(非公開)
放課後の居場所ではスタッフと一緒に宿題をする。

3.居場所サポート

安心安全な居場所の提供。
夜の居場所の開催。
スタッフは子どもの権利について定期的に勉強会を行う。

4.食サポート

月1回の食材配布、放課後の軽食、夕食の提供。

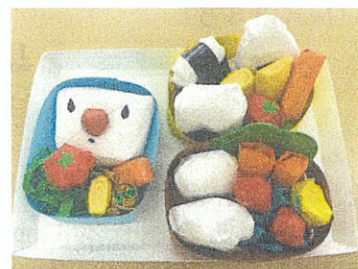
4 事業の成果

1.登校サポート

学校に行かない日に利用する場所として、小学生7名、中学生2名、高校生2名が不定期で訪れた。

自宅と学校以外で安心して過ごせる場としてエネルギーチャージするなど利用の目的はそれぞれだが、利用始めの頃に比べると顔つきや声の出し方が変わったり、次のステップへ進んだ児童や生徒もいる。

自分がどうしたいか、「自分で決める」クセづけをしていった。



2.学習サポート

にっこりひろばで毎日必ず宿題を終わらせることを決めていた児童が2名。その子達に影響され、宿題をする子も多数。勉強をする習慣づけができた。



3.居場所サポート

日中は未就園児連れの母親たちの交流の場となっていた。予約がいらす、子どもの様子に合わせて出かけられる場があることにお礼を言われることが多い。

保健師や管理栄養士等の専門職がいる日は、毎回3組ほどの親子が相談に訪れる。

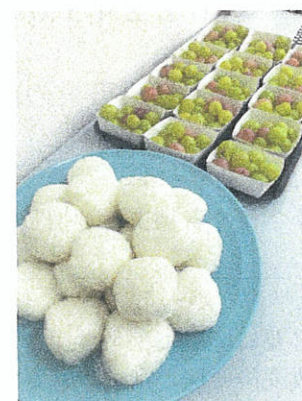
放課後はほっとする時間として利用する児童が多数。音楽を聴いたり、本を読んだり、工作をしたり、思い思いのことをして過ごしている。夜は毎回15名ほどの児童とその保護者が参加。子どもたちは金曜日の夜ならではの開放感を楽しみ、保護者同士は情報交換をしたり夕飯の心配をせず過ごせることにメリットがある



4.食サポート

月1回の食材配布には毎回70世帯の利用。毎週2世帯には住民自治協議会を通したり、直接来てもらって食材のセットを渡した。

放課後の軽食はコロナの感染状況が落ち着いた頃に提供。新米の季節にはご寄付いただいたお米で塩むすびを提供した。出す日は20食がすぐなくなった。



5 助成対象事業の実施状況を示す書類（添付）

1. 助成対象事業収支計算書
2. 事業の経過又は成果を証する書類
3. その他参考となる資料